



●Tackle Guide
この釣りは事前準備が肝心。仕掛けはあらかじめエサを付け、投入回数分の8組を用意すること。またオマツリしたときだれのハリか分かるようにチモトをマジックで色付けしておく。

当日のキンメ仕掛け
竿はアルファテックルティープインバウトカイザーモリルG。ヨリ取りパーツはキャラリングI型+ヨリトリエン7x15号。親子サルカク1x2号。捨て糸は同14号。オモリは鉄筋2kg。枝スは同14号。ハリはムツ19号。ハリ数は20本まで。

くように沈んでいくイメージ。捨て糸を短くしたのは下バリエをカケ下がり斜面から離さないため。また中オモリを100号に交換したのは仕掛け全体を早くカケ下がりの斜面に近づけるためだ。

久びさの快感

30分ほど探索したが、これといった反応は見当たらないよう、船長のヤマ勘で4投目を迎える。「460メートル。平らっぱだよ」このアナウンスに今度は中

はこれぞ新島キンメと呼ぶにふさわしい21キロのメガサイズだ。次の流しても同じ狙い方で1.9キロをキヤッチしたものの、ほかの人にはアタリがこなかったでポイント移動となる。



▲大型キンメの多点掛け、たまりません！

鮮魚店に並ぶ数かずの魚の中で、ひときわ目を引く鮮やかな赤い寶石のようなキンメダイ。見た目の美しさはもちろんだが、食味のよさも皆さんご存じのとおり。中でも伊豆半島と利島・新島の中間海域（いわゆる新島沖）で釣れるキンメはことさら脂の乗りがよく、地キンメ、「トロキンメ」、日戻りキンメ「などと呼ばれ、一般市場にはほとんど出回らず豊洲へ直行、超の付く高級魚扱いで取引されている。そんなブランドキンメを十分に堪能できるのは釣り人ならではのの特権だ。

前夜、自宅でエサ（カツオのハラモ）付けを済ませておいた掛け枠に巻いた仕掛けをクーラーから取り出し道糸に接続、2キロの鉄筋オモリを付けて投入スタンバイOK。開始時間の5時20分を過ぎたが、老練船長は慌てることなくリサーチを続ける。回転灯を回す船団からかな

●南伊豆下田須崎港発↓新島沖

本誌ABC(東京)権名義徳 Yoshinori Shimizu

1〜2キロ級は当たり前前
新島キンメは春も盛況!!

「ここらでやってみようか。460メートル。カケ上がりだよ」のかけ声でミヨシの稲葉さんから1投目が開始される。

潮が流れない!?

続いて2番目の宮崎さんの投入も完了したところで、最後に私の仕掛けが投じられる。投入時の注意点は、竿先からのびる道糸を常に張った状態にしておくこと。たるんでいると掛け枠から放たれたハリが道糸に引っかけることがあるからだ。

もう一点は、リールのクラッチをフリーにするのは、仕掛けがすべて海中に入り、竿にテンションがかかっているから行うこと。最初からクラッチをフリーにしておく、仕掛けが出きった勢いでバックラッシュを起すことがある。リールのカウンターが430メ



フラッシャーの長さは5センチほど

知得! Tips and Tricks
フラッシャーが大当たり!
前半アタリが遠かったため、実は4投目からフラッシャーを巻いたハリを1本置きに付けた仕掛けを使用していた。その結果、いきなり私だけにアタリがきて8点掛けを達成。その後もラストまでアタリは私に集中し、ダントツの釣果を上げることができた。使用したフラッシャーの色はケイムラ。水中に入ると青白く光を反射する。片貝沖のキンメ釣りでフラッシャーサビキが成果を上げているように、この日は選んだようにフラッシャーバリエに掛かる確率が高かった。効果の高いアイテムといえるだろう。

▼新島沖のキンメは初夏も大いに期待できそう



オモリを60号にチェンジ。先ほどのカケ下がりの流しで上バリエにドンコ、ソコダも掛かってきたので、この緩い潮況と平たんな場所でもオモリ100号では仕掛けが底を這ってしまおうと読んだからだ。スプールを押さえながら道糸を送り出していくとアタリ到来。道糸が引き出されるように強いアタリが続くので複数枚は掛かったようだ。650メートルまで道糸を送り出したところで巻き上げを開始すると、いい感じに竿が曲がり込む。仕掛けが上がってくると澄んだ海中に上バリエからスラズラと連なるキンメの魚影。1枚、2枚と取り込み、8枚のキンメが足元を埋めつくす。型も1〜1.8キロと申し分ない。



▲氷を効かせたクーラーでしっかり冷やして持ち帰ろう

久びさの快感。交じりで釣れたサバは最高のエサになる。捨ててしまう人が多いが、私の場合はその場で切り身にカット。効果はてきめんで、次の流しでは4点掛けでキンメが連なってきた。にわかに調子を上げてきたのは稲葉さん。2点掛け、続いて3点掛けと投入ごとに数をのばしていく。道糸の高切れなど不運に見舞われ、ここまで型を見えない宮崎さん。7投目に、「やっときました。本日のハイライトです!」と良型の5点掛けを披露。私も6投目に4枚、7投目に5枚と続き、ラスト8投目でも1枚追加し当日の釣りを終えた。

●船宿information
南伊豆下田須崎港
八倉丸
☎0558-22-2796
(詳細は巻末の情報欄参照)

山本 浩史船長

▶料金=キンメ乗合一人1万9000円(水付き)
▶備考=オールレンタルプランは事前に要相談。
根魚五目、マダイ、イサキへも